

2005年1月1日

皆さん明けましておめでとうございます。

去年は台風、地震、津波、そしてクマの異常出没等自然がらみのニュースが多かった一年でした。人間が今までしてきた事に自然が怒っていると感じたのは私だけではないと思います。毎年最初の「裏磐梯日記」に書いていることですが自然相手に生活や仕事をしていると「変化」にとっても敏感になります。よい方向に変わって行く流れはすぐに感じ取れませんが悪化していく過程はととても敏感に感じ取れます。

裏磐梯に来て19年目。ここも結構便利になって生活するにはいいのですが仕事場としてはちょっと考えなくてはならないかもしれません。

裏磐梯が私たちスタッフにとってよい仕事場であり続けることがこの自然を守っていくことになるのでしょう。

今年も宜しくお願いいたします。(もく)

みなさんあけましておめでとうございます。今年もよろしくお祈りします。

お雑煮とくりきんとんとコーヒーで元旦の朝ご飯。郵便配達くる前に雪かき。終わる頃、年賀状が届いた。

届いたのを見ながら年賀状書き。合間にまたお雑煮食べる。

日が暮れた。雪がちらついている。赤セロハン貼った懐中電灯ポケットに入れ、クロカンはいて18時うちを出発。小野川湖畔探勝路に入る。

雪明かりがあるから暗いまま歩く。時々止まって耳を澄ます。聞こえるのはササが風に揺れる音。

19時引き返す。懐中電灯照らし、動物の眼が光らないか探しながら帰るが、なにもいない。足跡もない。雪がやみ、オリオンがみえた。19:48帰宅。今年目標【裏磐梯でムササビ・モモンガに会う】…何度も夜の森で耳を澄まそう。(まき)

2005年1月2日

初仕事は五色沼スノーシューツアー。リピーターのご家族。また来てくれるってほんとううれしいです。テン、ウサギ、リス、イタチの足跡見た。

夕方、用があったついでに、モモンガの巣のある神社に寄る。積雪20cm弱。リス、テン、キツネ、ネズミ、ウサギの足跡。滝にはカワガラスがいた。奥へ進むとチチツチツ、なんとまあ目の前にミソサザイ。

17時から新しく見つけた穴の下に張り込む。17:15、ググ…ガガガ…近くでくぐもった声。ムササビか？もうそれだけでうれしい。30分待って、動きがないので帰った。(まき)

2005年1月3日

下北半島のモモンガはヒノキアスナロの葉を食べる、と本に載ってた。

冬は常緑樹の葉食べてんだろーな。よし、今晚はスギ狙いで休暇村の中へ行こう。

17:30から1時間クロカンでコースをまわる。途中スギの下で30分じーっとする。風なし、星空。カモの声と羽音がした。あ、人工衛星。夜空のミズスマシみたいだ。

パン…カシ…時々かすかな音がする。木に積もった雪が落ちる音？動きもない。

私が知ってるのはムササビの鳴き声だけ。ムサやモモはどんな物音たてんだろー？モモはなんて鳴くんだろー？今夜も空振り。(まき)

2005年1月4日

雨っぽい雪から大粒の雪。明日にかけて積もるかな。今日の五色沼ツアー、ちょっと湿っぽくなりました。

ところで、今の赤沼は抹茶グリーンで、なぜに赤沼？な色ですが「45年前は赤かったのよ！」と今日のお客さんがいいました。来るたび赤くなくなるわ、とのこと。

磐梯山噴火して116年、自然は目に見えて移り変わっているのね。これが裏磐梯の面白いところ。(まき)

2005年1月6日

けんちゃんとスノーシューで銅沼下見。
雪が少なくて、やぶが出てるのに驚いた。銅沼ははじっこ渡ったけど跡が滲みた。危険だ。
イエローフォール目指したが、岩石地帯がかなり露出。夏道から行こうとしたら、そちらも岩石地帯。間に落ちたら大変！と考えつつもルート探して前進。
12:20、岩の上で休憩。「あ、カモシカ！」2頭(親子?)いた。やった！
さらに前進続けたが、危なすぎると判断し、引き返す。薄く雪かぶったここは落とし穴地帯だ！
雪降ってくれー！！どこでも自由に歩ける裏磐梯の冬よ、早くこい！(まき)

2005年1月8日

7日は湿った雪が一日降った。これでやぶもいくらか埋もれるけど、冬空よもっと本気だしてくれい。今朝は雪かき1時間。

五色沼スノーシューツアーは森じゅう重い雪がたっぷり乗って、いい感じでした。空の青も鮮やか！リス、テン、ウサギの足跡あり。リスの食痕あり。このところ来る度新しい食痕あるから朝早くれば会えそうだなあ。夜ムササビ、モモンガ探して朝リス探して…身がもつかなあ(笑)。ま、やってみなきゃわかんないよなあ。(まき)



2005年1月9日

6時50分。起きるとストーブつけず、顔も洗わず、古いカッパ着て長靴はいてスノーダンプ引きずって外へ出る。よし(にまっ)つもってる。今朝の雪は軽い。冷え込んだんだな。40分で終了。体はあったまっている。

ご飯の炊けた匂いがする。部屋に戻り、顔を洗い、朝ご飯食べて、ツアー用に、紅茶をポットにいれる。ストーブつけなくても寒さを感じない。雪かきの効用。

昨日車のドア凍ってあかなくて苦労したから、長めにエンジンかけよう。今日のお客さんはリピーター。顔を思い浮かべながらどんなツアーにしようか、考える。さあ、いくぞ！(まき)

2005年1月10日

この3連休でやっと「会津の冬」になりました。しかし、ツアーは雪不足で実施できず、それでも足慣らしにと3名の参加がありました。遠目でみていると雪着きがよさそうな斜面も近くにいったらもう大変。1シーズン分のラッセルをしてしまいました。

今日は足がパンパンです。(もく)



7日に【裏磐梯でムササビ・モモンガを探そう！】という調査手引きを作り、ここ数日興味ありそうな人に配っている。Tさんが早速聞き取り調査して、報告してくれた。地元Sさんはバンドリ(=ムササビ)を10~20年前見たそう。どうも私が元旦の晩探しに行った方面のよう。よしフィールドサイン探しに行ってみよ。

今日はけんちゃんのツアーにくっついて、中瀬沼クロカン。檜原湖、レンゲ沼は凍ってき

たもののストックでつつくとジャクジャク。雪が降り続けているのでやぶも埋もれてきたが、入るともぐる。というわけで遊歩道を歩く。やわらかな雪で気持ちいい。ウソ、アカゲラ、エナガ、コガラがいたな。(まき)

2005年1月11日

楽しい長い1日だった。朝雪かきして五色沼スノーシューツアーに出かけ、いつも見かける鳥たちの他にモズ・ヤマガラ・オオバンも見た。

それから急いで猪苗代公民館に行き、かんじき作りを教わった後、かんじき履いて猪苗代湖のしぶき氷見に行って15:37イタチも見た。

すぐ猪苗代町内の某神社へ移動し、16時半からT夫婦、志帆ちゃん、池田君と落ち合っ
てムササビ観察。境内は膝上ラッセル。またかんじき活躍。巣穴？を発見し17時張り込み
開始。17:30隣で志帆ちゃんが声ひそめて「いましたっ！」私たちの目の前の木に飛んでき
て張り付いているムサガ！彼女今まで何度か出かけていつも見られなかったから、よかつ
た！

その木のとっぺんに登って滑空するまで5分ほど観察できた。だけど飛んだ瞬間は志帆
ちゃんだけが見た。うー隣にいながらっ。ムサは黙ってたなあ。

そして歯磨き粉とナットウ買って裏磐梯に帰りましたとさ。(まき)

2005年1月13日

昨日1日雪。今日レンゲ沼あたりにスノーシューで行ったら、膝上ラッセルだった。大変だ
けどハンノキ林入っても湿地がでなくなり、歩けるようになってきた。うれしい～。レンゲ沼
は端に乗ったら滲みました。片足落ちた人もいたので、もう一息！です。

11時頃イタチ目撃！

17:15～17:45、猪苗代の某神社に張り込みに行ったけど空振りでした。今日はどこ飛んだ
のかなあ…。

猪苗代のムササビ情報2件新たに掴みました。裏磐梯はまだ過去の情報しかない…(ま
き)

2005年1月15日

久々にクロカンガイド。…私やっぱり好きだなあ、この仕事。

午後は檜原湖・中瀬沼のツアー。今シーズン初めて檜原湖に乗った。大丈夫だけど、西
岸は湖水まだみえてる～。あちこち自由に歩き、2カ所のハンノキ林でウサギに2度会う。つ
いてるなー。耳の先だけ黒でキュート♪

ツアーの終わりに知り合いにばったり会った。ちょうど歳の神(カヤ燃して正月飾りとか焼
いたりする)の晩だったから、一緒に出かけた。トン汁ごちそうになり、歳の神の火でスルメ
あぶって食べた。これで今年も風邪ひかないぞ。(まき)

2005年1月16日

午前のクロカンツアー、昨日ウサギみたんですよ、と始めたら小5の2人組が「よし晩ご飯
はウサギだ。ウサギ狩り！」(笑)わかった。ウサギ狩りに行こう！」で4人してウサギ足跡
追跡。途中もくさんが「新しいカモシカの足跡がそっち行ってたよ」と教えてくれたので「晩ご
飯はカモシカっ！」になった。

これがまた新しいのなんの、新雪に体埋もれながら、歩いている。これは絶対会える！本
気で追跡開始。あ、流れ山登って…こっち降りて…1kmコース横切って…また登ってトラバ
ース…1.5kmコース越えて、ここ飛び込んで…流れ山の上行って…降りてあっち行っ
た…。ハス沼まで追って、12時になってしまい、午後のツアーもあるし、3人とも初めてのク
ロカンで疲れてきてたからあがることにした。おしかったけど、すっごく充実！

夕方もくさんに聞いたら、会ったって！りょう君はカモシカの後歩いたって！いいな～。

休暇村の中でカモシカに会うって今までなかった。もくさんも私も梁部山から迷ってきて帰
れなくなったんだろうと推測してた。「だから山の方へ追ったんだ。帰れたようだよ」ほんとに
カモシカ狩りだね。(まき)

2005年1月17日

今日(17日)の日テレ「ズームインスーパー」を見た方も多いと思いますがこのところの冷え込みで猪苗代湖の氷の芸術「しぶき氷」がやっと出来てきました。

まだ小さいですがこれからモンスターに変わっていくことでしょう。もくもくでは今シーズンも見学ツアーを実施しますので日程等確認して是非参加して下さい。何たって期間限定(この言葉に弱い人もいます)ですが…)ですぞ！(もく)



そうだ。昨日「ウサギ狩り」した小5の2人組は「これウサギが食べた跡だよ」って言ったら「食べてみよう！」そのケナシヤブデマリの枝をかじった！遅れをとったが私も。苦くなくまずくなく、気持ちは冬ウサギ。ふふ、また遊ぼうな～。

今日裏磐梯は小雪。

朝、隣のまちちゃんが「今度はいつムササビ行くの？」「いつでもいいけど」じゃ今日猪苗代の例の神社行こう、となった。りょう君(まだムサの滑空みてない)も誘い、16時半頃から境内で着木の爪痕や巣穴探し。足周りはスノーシュー・かんじきだ。

17:10張り込み開始。雪がやみ、ぼやけた半月と星。風はない。17:19鳴き声がした。前回と違う方だ。りょう君が着木状態のムササビに気づく。今日はよく鳴く。そして私たちの方へ短い滑空！また登って…(息ひそめる3人)17:29本殿の向こうへ長い滑空！やったー！

まちちゃんと私は別の方からの鳴き声を聞いた。2匹いるんだ！大収穫だあ！(まき)

2005年1月18日

本日りょう君クロカンインストラクター・デビュー！「絶対こないでくださいね」はははっ、行くに決まってんでしょ！

もくさんと私、他2名見学。このやりにくい状況で(笑)りょう君らしい細やかなスタイルを見せてくれました。新しいカラーのスタッフ登場。まだ彼はおもしろくなると私はふんでおりませう。お祝いなのか、めずらしくジョウビタキのメスがみんなの前にやってきました。

午後志帆ちゃんとI君と、不動滝スノーシュー。雪の感触をたあっぷり味わう。道なき森、誰のトレースもない斜面を下る爽快さ！きゃー！

樹洞は全てチェックいれましたが(笑、ムサモモね)気配なさそう。

毛玉のようなニホンザル10頭と、私たちが滝行ってた間の新しいカモシカの足跡みしました。(まき)

2005年1月19日

晴天無風。銅沼下見に一人スノーシューで行く。

ひえ～動物の足跡さえ沼の端についてる～。でも行っちゃえ！ストックでつつき、足跡振り返っては確かめ、ハラハラしながらも…渡ったあ！

岩場は注意すれば通れます。イエローフォールもできてきました。飯豊、朝日も見えた。今シーズン初ウサギふん発見。足跡は縦横無尽。テン、カモシカ、リス、イタチの足跡も。アカマツにヒガラ、コガラ。ヤマドリは目の前から飛び去った。ヒットはハギマシコ10羽の群。はじめてだ！ミヤマハンノキの種を雪上でいつまで一も熱心に食べてたな。昨日までのトレースは全て消え、高村光太郎(「道程」)状態でした。わーい(笑)(まき)

2005年1月20日

吹雪。もくもくスタッフ全員揃ってスノーシューでイエローフォール下見。

「この色ってなんなんだろうね」「鉄とか硫黄とか？」「調べてもらおうか」氷のかけらちびつと採集。ついになめてみた。「うおっしびれるっ」

調べがいたら日記で報告します。お楽しみに。

帰りは私が去年ツアーでよく使ったルートをとったが、「まきちゃんこっち行くの？」「そう」「俺は右の尾根行くんた。眺めいいし」もくさんも赤沼さんもそれぞれお気に入りルートが違

う！「じゃ、そっち行きましょ」人のルートは面白い。先頭ラッセルのけんちゃんは右往左往でしたが(笑)。そうそう、けんちゃんは岩からバック宙で飛びおり決めました！やるな～。
午後はもくさんのテレマーク教室。生徒はけんちゃんと私とりょう君。クロカンなのりにょう君うまい。悔しいなあっ！(まき)

2005年1月21日

昨日から吹雪止まない。朝雪かき。ゴミ捨て行ったらゴミ置き場(小屋)の前1m積雪でドアあかない(笑)。置いてあるカクスコで雪かいてゴミ置いてくる。

近所のガソリンスタンドで給油ついでにお茶飲み。立ち寄った人からムササビモモンガの聞き取りをする。セブンイレブンでも地元の店員さんに聞き取り。

うちに帰るとまたつもった。雪かきしてると、そこに通りかかった猪苗代のOさん、営業がてら立ち話。そしてムサ情報もらう(笑)。吹雪でも表にいるといいことあるなあ。(まき)

2005年1月22日

吹雪続く。朝の雪かきは冷たい風の中。隣のみのもる君と一緒にやるから楽だが。さて風呂釜が凍ってしまった。底の栓も凍った。バケツで水を汲みだし、栓にお湯かけてはずす。釜の穴にホースで勢いよく水送り、じわじわ溶かすが…頑丈に凍ってる。風呂場にストーブ持ち込んで、新聞とコーヒーも用意してドア閉め切り長期戦だ！準備整ったとたん、…ちよろろ…あ、溶けたっ。

さ今夜はうちの風呂はいれるぞ♪バイトから帰り、ガス点火！…ありっ、着かない。むむ、換気口に雪吹き付けて駄目みたい。あきらめた～。明日外の雪払おう。でも2階なんだよな。どうするかな～(まき)

2005年1月23日

雪も風もやんで久々に磐梯山がクッキリと灰色空に映えていた。

午後の満喫ツアー、ウサギの足跡だらけ。いったい何羽いるのやら。14:32ハンノキ林木道から、まっしぐらに西へ駆けてくウサギ1羽は見たけれど、やつだけの運動量だとしたらウサおそるべし(そんなわけないって！)。他テンとイタチの足跡が2割ってとこかな。

お客さんとレンゲ沼初横断！待ちかねたよ～この日を。檜原湖は乗ったけどまだ湖水も見えてます。

さて風呂問題。外出てスノーシュー履いて高くつもった雪にあがり、棒で排気口つついて雪払い。そして点火！沸きました。ほっ。(まき)

2005年1月24日

無風青空。ゆうべ降らなかったから、動物の痕跡が雪の上に残ってる。ムサモモ探しにいかなくちゃ！

スノーシュー履いて、2年前ムササビの声聞いたあたりの裏磐梯の山を歩く。樹洞探しては穴の下にふんないか見る。あれば最近ねぐらにしている証拠なのだが…いくつかみてもない。

2時間たち、もう帰るかと思った時、大木の下に枝が300本くらいばらばら落ちてるのが目に留まった。木につもった雪と落ちれば雪の跡もあるのに、枝は平らな雪にささるように散らかっている。かじり跡が新しい。

ウサギ？いや、このミズメの枝は低い位置にはない。冬芽もかじってる…。注意深く近辺の雪上を見ていくと、丸っこいふんが。ムササビのだ！

樹洞が見つからなかったことはふっとんでいた。裏磐梯に今もムササビがいる証拠つかんだんだもの！やったあ！(まき)

2005年1月27日

たくさんの中学生とスノーシューツアー。

レンゲ沼のまんなかで氷出るまで掘ってみる。キツネとリスとウサギの足跡みる。クマ棚みる。お昼食べて、道なき森を抜け、名もない沼渡り、檜原湖の上に出る。磐梯山全部見

える。風なく日の光があったかい。どこまでも見渡せる。青空。誰も踏んでない雪原。「ねっころがっていいよー」なんて開放感。コゲラを見つけ、ハリギリはおいしいと言えば生徒の目が輝く。流れ山登って降りて、おしまい！
なんてすてきな日。裏磐梯の冬の魅力たっぷり！このフィールドのふところの深さよ！私はまた惚れたね！（まき）

ビジターセンターに向かう途中、雪に埋もれた鳥の羽根を発見。掘り返してみると、なんと凍った「トラツグミ」。全身きれいな状態。大きな目を半分だけ開けてにやけた表情。怪物“ぬえ”の正体はこんなにかわいいコなのだ。

池田さんに電話したら「欲しい」とのこと。トラちゃん(トラツグミね)を助手席に乗せ、池田さんちに向かう。ブオーン、ギョルギョルギョルー。家の手前で車がはまる。「池田さーん、助けてくださいーい」トラちゃんと一緒になんとか無事救出してもらおう。冬の裏磐梯で二輪駆動の軽自動車は無謀です。(りょう)

2005年1月28日

昨夜いきなり、雄国テレマークツアーに行こう！と決めて、今日けんちゃん、りょう君と出かけた。

9時半で-4℃、森は樹氷で真っ白。どう滑ろうか迷ったが、私の会いたい大きなブナの所へ寄り(元気でした。笑)、神社にお参りしてから沼へ出た。全面結氷してたので休憩舎まで沼を渡る。

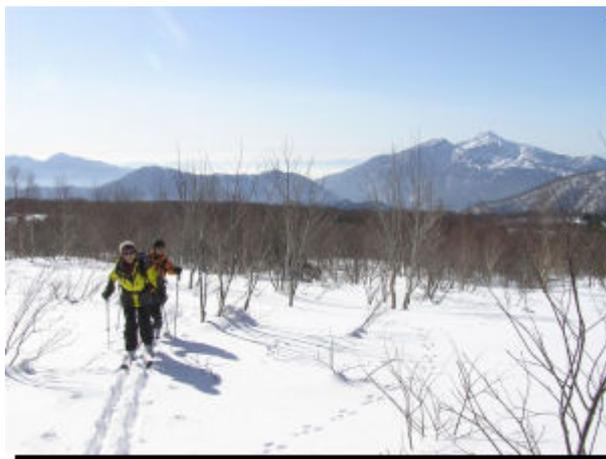
雲に覆われて見えなかった景色が、午後天候回復につれ見渡せるように。いいねー。雪もいい。木をぬって白い森を滑る…うーん、いいっ！また行こうと。(まき)

2005年1月30日

今年のネイチャースキー入門は定員を少なくし、プライベート感覚で参加できるようにしていますが今回は参加者のインフルエンザや体調不良でホンマもんのプライベートツアーになりました。

天気はご覧の通りドッピーカンで春ツアー気分！やっぱりツアーは癖になります。

下山途中ゲレンデを滑って降りるのが一番疲れました。(もく)



注文してたアトラスのスノーシューが届きました！うきうき！昨シーズンまで使ってたのと同じ型なので、装着感がしっくり。これよこれっ！

磐梯山はみえないが近くの景色は見えるレベルの吹雪。新品はいて出かけた先はムササビの痕跡見つけた森。新地点で古い食痕発見。またミズメ食べてる。

ブナやミズナラの大木が結構ある。歩いてるだけでもなーんか気持ちいい。いつか月夜の晩にここへ来てムササビに会えたら…はあ幸せ。(まき)

2005年1月31日

夜、スノーシューで現夢碑にひとり向かう。この冬一番の寒気だそうで、顔に当たる雪がちょっぴり痛い。柳沼から入るが、もちろん人の気配はない。ふっふっふ、五色沼独り占め。動物に会えないかとしばらく息を潜めてみるも、こんな天気の日には動物もコタツのみかんか、聴こえてくるのは“雪が降る音”だけ。

しばらく歩くと、現夢碑が青白く浮かび上がる。けっこう不気味。ヘッドライトを消してみる。真っ暗闇になったと思うでしょ？ 実はヘッドライトを消す前とあんまり変わらないんだな。雪の白さ(青さ?)が明かり代わり。雪国の夜は意外に明るいのだ。皆さんも体験してみる？(りょう)

2005年2月2日

ラ・ラ・ラ♪ラッセル～スノーシュー履いて腰まで埋まるう～♪
やあははは、降りました(うれしいかはし)。4日連続雪。五色沼で腰ラッセルはめずらしい(だいたい膝ラッセルでしたが)。カモシカもウサギもキツネも埋まりそう。足跡ゼロ。どこかでじいっとして、晴れの日を待ちわびているのね…。
けれども、あいた時間はフィールドへ！ルート開拓だ！「りょう君行こう！」「行きましよう！」気持ちの勢いとうらはらに、クロカンはいたらまたラ・ラ・ラ…。「ごめんこれ、筋カトレーニングだね…」(まき)

2005年2月3日

朝ご飯にイワシを焼き、頭を残す。ヒイラギないから、ハリエンジュの小枝採ってくる。トゲが痛くて鬼が逃げるなら、これでもいいよね(だったらタラノキ最強？)。準備完了。枝先にイワシの頭刺して、家の入り口に飾った。豆まきもする！…そーいや肉控えるようになってからダイズよく食べるなあ。高野豆腐、油あげ、納豆、豆乳、みそ、醤油、大豆煮物。歳の数の炒豆かじりつつ、ダイズ農家に感謝。…ん、節分てそういう日じゃないね(笑)。(まき)

2005年2月6日

毎年2月の第1土曜、日曜は裏磐梯では絶滅危惧種になりつつあるクロカン好きペンションオーナーが主催する「裏磐梯2時間トリアル大会」です。

今年も21世紀生まれのチビっ子から大正生まれの大先輩まで約270名の参加者を迎えご覧の様な晴天に恵まれ無事終了しました。選手の皆さんお疲れ様でした。[大会風景の写真集](#)を公開中です。(もく)



一週間ぶりに天気回復、雪はやや締まった。2日続けて五色沼へ。昨日スノーシュー、今日クロカン。どっちも楽しい！

毘沙門沼のハクチョウは、猪苗代湖へ移動したのか、20羽くらいいたのが4羽に。ヨシガモとホシハジロも見なくなったなあ。

しばらく途絶えてた動物の足跡が少し見られた(今夜は星空。明日は足跡たくさんか？)。

昨日はなかった鳥の食べられた跡を毘沙門沼の展望ポイントで発見。血の色も鮮やか。周辺に動物の足跡がなかったので猛禽(ワシタカやフクロウ)のしわざ？と推測。食べられた鳥の羽を拾う。種類わかるかなー。(まき)

2005年2月8日

朝、雪だるま作ってみる。
昼、しんしんと降る雪を浴びる。
夜、星空を見上げる。(りょう)



2005年2月9日

夕方、1月に裏磐梯でムササビの痕跡発見した付近へ行く。ムササビは日没30分後頃から行動開始する。私は会う気である。なお、先週も夕方ここに来たが空振った。

晴れのち曇り。1℃。無風で暖かく感じる。スノーシューで森の中へ。新たな樹洞を見つけた。周辺で新しいムササビのフン1つとカエデの新鮮な食痕発見。

薄暗くなった。樹上でかさつと物音。赤セロハン貼ったライトあてるとその動物の眼が赤く光った！…ムササビだ！多分。は～っ…。

今回は鳴き声と滑空が確認できなかったなので、また行こ。(まき)

2005年2月10日

夕方5時、弱い吹雪。気温-5℃。…寒いっ。この時間私は例の森の中。

その瞬間、葉が散ったかと思った…滑空。そして木を登り、高い枝に止まる。夕暮れ空を背景に浮かぶシルエット。垂れ下がるしっぽ。また滑空。

…間違いなくムササビ。(まき)

昼間3時、弱い吹雪。体感気温25度。…暑いっ。この時間ぼくは“裏”竜沼の氷の上。

その瞬間、背が縮んだかと思った…貫通。そして土手を登り、高い枝につかまる。

曇り空を背景に響く悲鳴。垂れ下がる頭(がっくし)。足冷たい。

…間違いなく身から出たサビ。

ウサギに会えたから、ま、いっか。そう、毎日がアドベンチャー！

あー、なんかテンション上がってきた。(りょう)

2005年2月11日

五色沼の遊歩道から山にはいった高台に「明治神宮」があるんだが、行きたいなあ…と70代になる裏磐梯のA先生が数年前私に言っていた。いつか探しに行こうと思ってそのまま。

昨日りょう君に「まきさん明治神宮の場所知ってます？」と聞かれた。もちろん知らん。

で、彼は探しに行ったが未発見。

今日はいい天気。急に時間があいたので、クロカンであてずっぽうに探しに行く。いい森だ…いい雪だ…と奥へ滑って行き、裏磐梯スキー場まで行ってしまった。さすがにちとくたびれた。

帰りながら探す。尾根に大きな岩。眼をこらすと、「宮」の字が見えた気が。あれか？近くと「明治神宮」と彫ってあった。やったあ発見！撮影し、手を合わせてきました。

しかし云われ知らない。なんなのかな…。磐梯山噴火後のものみたいだが。(まき)

2005年2月13日

五色沼ツアーの後、りょう君と「明治神宮」へ。帰りに急な崖を降りたらウサギが驚いて走り去った。

瑠璃沼の裏を行くと、雪上に鳥のふんに混じったヤドリギの種が。近くにヤドリギは見あたらない。やっぱり離れた場所へも鳥が種を運ぶんだあ…。

瑠璃沼過ぎた森に猛禽の餌食になったと思われる鳥の羽散乱。雪つもってないから最近のことらしい。6日の状況と似ている。落ちてる羽も同じ。(まき)

ぼくはスノーシューの機動力が好きだ。スキーでは登るのが困難な坂でも、スノーシューならどんどん登って行ける。スキーでは腰が引けるような坂でもスノーシューならどんどん駆け降りて行ける。スノーシューを履けばカモシカにも負けないなんじゃないかって気になってくる。ビジネスマンにとってのスーツみたいなもんかな。

午後、まきさんと「明治神宮」に向かう。高台にある神宮。帰りは当然下りなわけで、これがまた“落ちる”という表現がぴったり。さあ、スノーシューの真価発揮だ！が、高所恐怖症なぼくはカモシカにあっさり負けを認め、ビビりながら落ちていく。ウサギはそんなぼくにビビって逃げていく。(りょう)

2005年2月17日

夕方、裏磐梯いち早くクロサンショウウオの卵塊見られる池をチェックしたら、すでに10！
今年は早い！例年は2月下旬～3月上旬なんだけど。

さあ一カエルとサンちゃんの卵チェックの季節がはじまりました！！
ツアーに行ったら水辺をみよう！（まき）

2005年2月18日

ミシッ、ミシッ。一步進むたびに不快な音が響く。全身の毛穴が開くを感じる。全神経を
今まさに前に出る足の裏に集中させる。

“裏”中瀬沼から夏道に戻ろうとしたら、渡るところがない。最近暖かかったからねえ。
突然、ウサギが跳ねる。必死に逃げるヤツの後姿に視線を送ると、ふと、沼上に薄っす
らと凍った細い“道”を見つける。
「こりゃ落ちるな」思いとは裏腹に足は前に進む自分が悲しくもありオトコマエでもある。
中瀬沼男祭り。落ちればもっとオトコマエだったのにねえ。（りょう）

2005年2月24日

22日浦和の実家から裏磐梯へトンボがえり。向こうはウメにロウバイ、穏やかに晴、青空
に富士山。数時間後猪苗代は雪。…この時期ほーんと別世界。

おととい昨日吹雪、今日は晴れ、五色沼ツアー。またつもったあ！木真っ白！トレースゼ
ロ！テン、ウサギ、リスの足跡、イタチはスポッと雪のなかを通過したトンネルを残してい
た。

エナガ、ヤマガラ、コガラ、ヒガラに会う。毘沙門沼のハクチョウは去りました。そして2羽
のオオバンが2つがいのヒドリガモに追われてました。がオオバン、めげずに潜水。あの仲
の悪さは必見でしょう。（まき）

2005年2月25日

久しぶりに池田君とクロカンのガイド。風なく暖かく青空に白い山並み。おとといの吹雪で
生クリームかけたようなトレース無い雪原…わおわお！心が浮き立っちゃうね！お客さん
たちも笑顔。

しかし私のスキー、あがる気温に湿った雪がくっついて、んんっ、滑らない。固形ワックス
でその場はしのぐ。

夕方池田君とこで道具借りてスキーの手入れ。ブラシかけると、きゃー、つやつや。ワック
ス塗ってよーし完璧！

明日からの滑りがわくわくだあ。（まき）

けんちゃんとクロカンで猫魔スキー場から猫魔八方台へ。ふかふかの雪面にはどこもか
しこも動物の足跡。新しいカモシカの足跡に、期待に胸を膨らませていると、けんちゃんが
見事にカモシカを発見。

悠然と胸ラッセルするその姿に男気(メスだったらごめんね)を感じた。

帰りは巨樹の森。時の流れを感じる、いいミズナラをみつけた。こりゃスゴイ。

な、なんと枝が…内緒(笑)

新しいクマ棚もあったし、磐梯山がきれいに見える場所もあったしでホント大収穫な1日。
（りょう）

2005年2月27日

池田さんのイエローフォールツアーにサポートでついた。雪質いいね。下り坂を、舞うよう
に、滑るように、駆け降りる。雪尻を踏み抜いて、落ちる、落ちる。ひやはははははははは
はははは。やっぱりスノーシューはこれがたまらん。

サポートなのをいいことに、バック宙して、スノーボードばりにエア&グラブ決めて、お客さ
ん以上に楽しんでしまった。ちょっぴり反省。（りょう）

2005年2月28日

雪が少ない！とぼやいて始まった今シーズンも折り返し点を過ぎ明日から3月。降り始めが遅く、雪解けが早くなった最近はシーズンがすごく短く感じます。今回のNスキーStep3は巨樹三昧のツアーで、ブナは勿論ナラ、カバ等改めて裏磐梯は「巨樹の宝庫」を実感できました。(もく)



朝からポタン雪が静かにふりつづいています。また積もるなあ(笑)。今日は家でのんびりです。

週末は世田谷からのお客さんたちとスノーシューツアー。晴れ女晴れ男ぞろいで縁起のいい“彩雲”(太陽近くの雲がピンクや緑に見える現象)にも出会いました。

軽い雪が薄く積もり、スノーシューコンディション最高っ！イエローフォールの帰り道、何度も急斜面をすべり台。みーんな子供ごころ全開！

だから好きよ、このフィールド。(まき)

2005年3月2日

猪苗代の山内写真店にフィルムの現像頼みに行く。

ちょうどこのギャラリーで作品展開いた塩川町のM氏が来ていた。私はM氏の写真と文のファンなので会えてうれしかった。話はムササビのことに。「うちの前にいましたよ。子供の頃です。2匹いたかな」リスやフクロウもいたが、フツーだと思っていたそう…。

ここ来るといろいろ情報交換できるので、たかはしの裏磐梯生活には欠かせません。(まき)

2005年3月3日

風はおだやかで天気もよかった。中瀬沼奥のあの丘が私を呼んでいる…。行かねば。クロカンでいくつもいくつも流れ山を越えていく。越えると走り去ったばかりのウサギの足跡に5度遭遇。新しいカモシカの足跡も。

14:10タヌキがはたはたはたはたと小さな谷の向かい斜面を逃げ、岩の下の穴に入ってしまった。タヌキは「み、水飲んでたのに、な、な、なんだようっ」と穴にて心臓ばくばくさせてるだろうが、私は私でタ、タ、タヌキだ、足跡だけでも写真撮ろっ！とばたばた。急ぐタヌキの足跡はウサギの足跡にすごく似てました。

丘からの帰り、どっかでウソが鳴いてるなあ～と流れ山越えたら、ドキッ！目の前のカンボクにオス3メス1が。ま、まずくない？それ？が、逃げもせず、ついばんでいる。今度はシャッター切るっ！…ふう、一ヶ月ぶんのラッキー使い果たしたかも。(まき)

2005年3月6日

朝、起きたら家の中が-7℃。もちろん水道凍結。寒さで『はにかむくん』(愛車)のエンジンもかからない。なんとか休暇村まで送ってもらう。

昼、クロカンのガイド終了。もちろん家に帰る手段がない。足元を見るとクロカンの板。なーんだ、帰る手段あるじゃん。山あり谷あり湖ありウサギあり。家に辿り着いたら腹筋割れてた。はい、腹筋割りたい人集合。(りょう)

2005年3月7日

昨日も今日もおだやかな晴れ！

ドライブしながらバックミラー覗くと、自分の車の後ろのタイヤが雪解け水はねて小さい虹を作ってた。おお。

雄国山のすそからは喜多方盆地の雪景色。かなたには幾重にも白色を塗り込めたかの

飯豊連峰！胸をすくような広がり…。町中へ降りたら、飯豊に近づいてるのになぜか小さく感じた。

5時過ぎ裏磐梯に戻る。磐梯山と吾妻連峰が夕陽に赤く染まり、安達太良は青白い。それは数分の色だった。まもなく山は全て青くなった。

星が瞬く。夜のとばりが降りてゆく。地球の自転を見届ける贅沢。(まき)

2005年3月8日

イエローフォールツアーのガイド。裏磐梯スキー場横の森。12:30ごろ。雪面を動く長いタワシ。あ、リス。目の前のマツの木をせわしなく登ったり降りたり。

やっぱりかわいいねえ。何気に今シーズン初リスなのだ。お客さんと一緒にゆっくり観察できた。ラッキー。(りょう)

2005年3月9日

雪が降っても、風が吹いてもなんとなく春を感じるのは動植物すべて同じで、3月になるとウキウキしてきます。

そんな中、雪が締まって歩きやすくなったのでスタッフ研修も兼ね、スノーシューで出かけてきました。どこを歩いても探してしまうのはやっぱりブナ！今回もこんなの(写真)見付けました。(もく)



スノーシューで川桁山へ。急勾配、吹雪、極寒、眺望ゼロ。下界は晴れてるのにね。が、ピッキオの井関さんが作ってくれたチーズケーキで癒される。登山にケーキ。登山に焼肉。登山に蟹イクラ丼(大盛)。妄想は膨らむ。あー、腹減った。

帰り道、高度が下がるにしたがって視界が開けてくる。おおっ、猪苗代湖すげーきれい！こんな世界が広がってたんだ。今度はゼツタイ晴れてる日に登ってやる…リベンジを誓う。(りょう)

2005年3月10日

一ヶ月ぶんのラッキー使い果たしてなかった！…いやひょっとすると一年ぶん使いきったか？(笑)あと9ヶ月どうしよう(笑)。

今日裏磐梯で新しいモモンガのふん見つけました！！

私のムサモモの先生・岩崎君が第一発見者ですからばっちりです！

教えてもらわなければモモンガのふんだとわからなかった…ありがとうっ！

ウサギとカモシカにも会えたし。今月入って4回ムササビ張り込みが空振りなくらいどうってこと…えーあります(泣)。(まき)

2005年3月13日

東京では「正蔵」襲名で盛り上がった週末ですが、こちらはご存知「ブナ太郎」で大盛り上がりでした。見る者を圧倒させるほどの幹周りと必ずといっていいほど近づけば崩れる天気。

今回もやっぱり吹雪かれました。まるで訪れる者を拒むかのように…(もく)



昨日午後モモンガのふん地点に行った。近くの神社で手をあわせたら下に潜り込んでたキツネが飛び出した！えええっ！15:40。落葉した明るい林をキツネが駆けてゆく。姿が消えてから、足跡見にいった。3日会ったタヌキのあせって逃げる跡そっくり。スギ植林入るとぼつぼつとした跡に変わった。葉陰に隠れて安心したみたいだ。

今日は五色沼ツアー。スノーシューで踏み固められた上にキツネの足跡が。時々犬のように歩道わきの樹にマーキング。昨日も私はここに来てたので、足跡は間違いなく昨日から今朝の間についたもの。キツネは柳沼から毘沙門沼手前まで1匹貸し切りでの～んびりツアーした模様。大変落ち着きはらった足跡でしたから。(まき)

東京からのお客さん。広尾やら代官山やらの地名が聞こえてくる。今日は銅沼セレブ祭りか。午後に行くイエローフォールもなんか新鮮。「私たちなんてガイドさんのおばあちゃんくらいじゃないの？」なんておっしゃりつつ、なんのなんの、ヨガ仕込みの呼吸法でしっかり乗りきりました。吹雪の中、ホントおつかれさまでした。

そっか、ヨガね。習おうかな。そしてすっかりセレブの仲間入り。裏磐梯初、セレブガイド誕生。「今日は西吾妻山に直登して、お紅茶とおケーキでもいただくかしら。」誰か止めて。(りょう)

2005年3月14日

うなじセクシー子ちゃん…今日会ったカモシカの名前。メスカどうかは知らないけど。「まきさん、中津川行きませんか？」「いいよー」。ぼくんちからクロカン履いていざ出発。雪融け跡にふきのとうが2つ。春だねえ。木の枝をすり抜けるカケス。羽ばたくマガモの群れ。ビビッ、ビビッと叫びながら激しく縄張り争い(?)するカワガラス。

「りょうくん、あれ！」まきさんが興奮した様子。おおっ、カモシカ。しばらくお互いに観察し合う。耳が黒いから名前はミミクロかな、まきさんが言う。顔が黒いから名前はガングロかな、ミミクロが言う。ミミクロに別れを告げ、レークライン下のトンネルをくぐって休憩。

「りょうくん、あれ！」おいおい、またかよ。岩場にカモシカ。こっち見てる。ミミクロ？いや、ちょっと小さい気がする。ヤツもその場に座り込んで休憩。

帰りはレークラインに乗ろうと斜面を登ると、さっきのカモシカも登ってる。

ふーん、カモシカも走るとウサギの足跡みたいになるんだ。あ、うなじが黒いね。じゃ、ウナクロ？いや、うなじセクシー子ちゃん。決定。

レークライン上から夕焼けを眺めながら帰途につく。この角度から見る磐梯山も新鮮。この冬この景色を見たのは、もしかするとぼくらだけなのかな？と考えるとちょっぴりうれしくなる。空も少しずつ表情を変えていく。満天の星空。赤い流れ星。でかつ。願い事3つくらい叶えてくれそう。

帰宅まで大充実の6時間。やっぱ来てよかった。でも、お客さん連れて行くのはハードすぎでさすがに無理だよなあ。(りょう)

2005年3月15日

あ～3月のツアーだあ…。日中7℃風なし。お客さんは手袋はずす。この穏やかさ3月。松原湖でワカサギ釣り穴にクロカンのストック入れ氷の厚さ測ると70cm。まだ森の中も湖も自由にゆける3月。

お客さんが明るい顔で手渡してくれたココナッツビスケットおいしかったなあ。紅茶にあうなあ。ゆったり3月。

山々はまだまだ白く高曇りの空にてっぺんまでくつきり。ふふふっ。3月裏磐梯。雪の世界

のなかの春。

来て来て。3月のツアーすてきだから。(まき)

2005年3月18日

福島県立博物館(会津若松市)で開催中の『衣と暮らし～東北の仕事着コレクション～』展が21日までなので、最後のチャンスと思い行ってきた。

ところが、ひさしぶりの常設展に見入ってしまい、気づいたら3時間経過…

『衣と暮らし』展も含め、4時間近く居座ったことになる。

綿入れハンテンがなつかしい。子供のころばあちゃんに作ってもらったのを思い出す。会津地方の仕事着に展示されていた刺子を作ったという方にもたまたまお会いした。流行はある周期で繰り返されるという。会津の仕事着。こんなステキなものだもの、繰り返される日が来るかもね。新発売、ゴアテックスハンテン！とか。だめ？(りょう)

2005年3月21日

「暑さ、寒さも彼岸まで…」とはよくいったものでこの連休は初日(19日)、真冬並みの吹雪。最終日(21日)はこれでもか！というくらい春の陽気。

3日間ツアー参加した伊藤様ご一行お疲れ様でした。これからがツアー本番！！さあ～遊ぶぞ！(もく)



3連休。

19日久々に1時間雪かきから1日が始まる。や～降ったなあ。春めく関東からのお客さん「ツアーできるんですか？」大丈夫。雪国にまだ雪は降る。

午後晴れてくる。友人N登場。猪苗代で買い物したあと、ただちにモモンガのふん現場案内。立て続けに日暮れにムササビ探し。しかし会えない。が、無風2℃。月明かりで森の影がまっさらな雪に落ちて。いい晩じゃあないか！

20日。微風、雲多めだが晴。昼間友人とムササビの森歩き。標高差150m登り下って登りかえして、また下る。食痕とふんを見つけ、ムサの行動範囲を推測。汗だく～。家帰ると真っ先に風呂沸かした。

21日、あれっまた積もった。15分雪かき。どんどん天気回復。晴！雲のない青空！最高のツアー日和！休暇村からレンゲ沼から檜原湖から中瀬沼展望台から磐梯山きれいっ！目の前にコガラ！お客さんラッキーですよ！

かくして全力疾走の3日間が終わった…。(まき)

2005年3月22日

雄子沢からボード背負って雄国へ。休憩舎でのんびり昼ごはん。真っ白な雄国沼をぼーっと眺める。テレマークで猫魔から下ってきた人と会う。「おだやかでいいですね」…雄国山に登る。

灰色の空だが周りの山々がはっきり見える。飯豊、吾妻、箕輪、安達太良、そして磐梯山。

さて、滑るか。密な林をすり抜ける。ボードだとなんてらくちん。カモシカの足跡を横切る。谷筋。雪崩が後ろから追ってくる…あー、いい汗かいた。青春な早春の日。(りょう)

2005年3月29日

3月末に雪降る五色沼ツアー。今日も弁天沼に乗れました！冬の始まりが遅かったけど、冬延長～！みたいなこの頃です。

去年9歳の少年と、五色沼で彼と同じ歳のトチノキの枝を見つけました。彼は今年も来てくれて10歳になった枝と再会。また来年もおいで～。

お客さんが歩道脇でタヌキ発見！だけど死んでた。ふつーに寝てる姿勢のままうすら雪をかぶり。外傷なし。抱えると暖かい気もする。ゆうべの雨にうたれておなか空かせて死んじゃったんだろうか。

剥製にして活かそうと思い岩崎君に相談する。午後白衣きて解剖セットひっさげ登場。ありがとっ！2時間40分寒い部屋で作業。は一つ大変。お疲れお疲れー！

作業前池田君から借りた体重計で測ると2Kg。あんまり軽いから私が乗ってみたが壊れてない。タヌキは脂肪も肉もとても薄かった。

やっぱり冬は野生動物にとって厳しい季節なんだ。必死で生活してる彼らをおびやかしてはいかんなあ。合掌。(まき)

2005年3月30日

あさってから4月だよなあ(笑)…今日は吹雪！！の檜原湖ツアー。歩けました！ワカサギ釣ってる人いましたよ。

スノーフィールドで遊びたい人！

裏磐梯はまだまだいけるっ！(まき)

2005年3月31日

まだ雪いっぱいだけど、裏磐梯スキー場今シーズン最終日。銅沼ツアーは貸し切り状態。トレース消えて高村状態！（←意味不明な場合は1月の日記チェック）吾妻、裏磐梯全体、飯豊、もちろん磐梯山、展望最高。11:50目の端を白いものがかすめる。もしや。そこへ行ったらウサギのつきたての足跡。あーっおいしい。

夕方吹雪。でもムササビの森へ。じいっと待つ私にみるみるうちに雪が降り積もる。が…会えない。とうとう3月はムサに会えないまま終わりました。はあ…。(まき)